

令和7年度

一般選抜（I期）問題

試験日 2月2日

日本史

試験開始までに下記の注意事項をよく読んでください。

注意事項

- ① 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- ② 開始の合図後、解答用紙に「氏名」、「個人番号」を記入すること。
- ③ 受験票、筆記用具以外は、机の上に置かないこと。
- ④ 受験票は机の上に貼付してある「個人番号」の手前に置くこと。
- ⑤ 記述解答で、字数の指定がある問題では句読点は1字として数えること。
- ⑥ 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
- ⑦ 試験中は退席しないこと。（気分が悪くなった場合は、手を挙げて監督者に知らせること）
- ⑧ 試験終了後、この問題冊子は持ち帰ること。

〔1〕 次の文章は、2024年に起きた出来事を振り返った大学生優花と正史先生の会話である。この文章を読み、下記の問いに答えなさい。

優花：令和6年は、日本の映画作品がアメリカのアカデミー賞を受賞したのが印象に残りました。視聴効果賞の「ゴジラ-1.0」、長編アニメーション賞の「君たちはどう生きるか」でしたね。

正史：伝統ある「ゴジラ」映画は、円谷英二監督の1954年に公開された特撮映画に始まり、⁽¹⁾中部太平洋ビキニ環礁の水爆実験に着想を得て製作されたもので、ゴジラが誕生して70年目にあたります。ちなみに、「君たちはどう生きるか」は吉野源三郎原作ですが、宮崎駿監督のオリジナルストーリーですね。東京帝国大学図書館に勤務していた吉野源三郎は、⁽²⁾非合法活動に関与したとして逮捕され、軍法会議に付され陸軍刑務所で過ごしました。その後、⁽³⁾『日本少国民文庫』の編集に携わり、⁽⁴⁾1937年に「君たちはどう生きるか」を刊行しました。翌年には、岩波新書の創刊に尽力しました。また、敗戦後の1946年には、戦争への反省、平和と民主主義確立の立場で創刊された『①』の初代編集長をつとめました。なお、1950年代の日本映画は、⁽⁵⁾「雨月物語」「西鶴一代女」などの溝口健二監督作品、「七人の侍」⁽⁶⁾「羅生門」「生きる」などの黒澤明作品も、国際的に高い評価を受けていました。

優花：博物館の特別展では、空海の生誕1250年を記念した奈良国立博物館の「空海 KŪKAI—密教のルーツとマンダラ世界」、（②）宗開宗850年を記念した東京・京都国立博物館の「法然と極楽浄土」がありましたね。

正史：「空海」展では、⁽⁷⁾密教がシルクロードを經由し東アジア諸地域、そして日本に至った⁽⁸⁾伝来の軌跡をたどることにより、⁽⁹⁾空海が日本にもたらした密教の全貌を解き明かしていました。空海は⁽¹⁰⁾三筆の一人で、⁽¹¹⁾最澄に送った書状「風信帖」も展示されていました。

次に「法然と極楽浄土」展を確認してきましょう。⁽¹²⁾平安時代末期、繰り返される内乱や災害・疫病の頻発によって世は乱れ、人々は疲弊していました。法然は、中国唐代の阿弥陀仏信仰者の教えに接し、阿弥陀仏の名号を称

えることによって誰もが等しく阿弥陀仏に救われ、極楽浄土に往生することを説き、(②) 宗を開きました。その後、その教義は全国へ普及し、三河において松平氏の帰依へと繋がり、末裔の(③)が増上寺を江戸の菩提所と決めました。

問1 下線部(1)について、どこの国が水爆実験を行ったか、答えなさい。また、その時に日本人が漁船上で被爆したが、その船の名前を答えなさい。

問2 下線部(2)について、1925年に制定された法令違反で逮捕されている。その法令を答えなさい。

問3 下線部(3)について、これを企画したのは、通俗小説『女の一生』を著した作家である。その人物を、下記の語群から選び、記号で答えなさい。

- a 山本有三 b 横光利一 c 徳永直 d 中里介山

問4 下線部(4)について、同年に起こった事件を、下記の語群から選び、記号で答えなさい。

- a 盧溝橋事件 b 上海事変
c 柳条湖事件 d 張作霖爆殺事件

問5 空欄『①』に入る適切な語句を、下記の語群から選び、記号で答えなさい。

- a 中央公論 b 世界 c 思想の科学 d 改造

問6 下線部(5)(6)について、原作者を答えなさい。

問7 下線部(7)について、仏教の一派である密教が誕生した国を答えなさい。

問8 下線部(8)について、空海が密教を2年間学んだ中国(唐)の都市を答えなさい。

問9 下線部(9)について、紀伊の山中に寺院を立てて真言宗を開いたが、その山と寺院を答えなさい。

問10 下線部(10)について、空海以外の三筆の残り二人を、下記の語群から選び、記号で答えなさい。

- a 橘逸勢 b 嵯峨天皇 c 小野道風
- d 藤原佐理 e 藤原行成

問11 下線部(11)について、最澄が開いた宗派の、中心寺院が開かれた山・寺院を答えなさい。

問12 最澄・空海当時の新しい仏教思想を支持した天皇を、下記の語群から選び、記号で答えなさい。

- a 聖武天皇 b 嵯峨天皇 c 醍醐天皇 d 一条天皇

問13 空欄(②) (③)に入る適切な語句を答えなさい。

問 14 下線部(12)について、下記に記した平安時代末期の内乱を、時代順に並び変えなさい。

- a 富士川の戦い b 保元の乱 c 平治の乱
- d 壇の浦の戦い e 奥州平定

問 15 法然が著した著書を下記の語群から選び、記号で答えなさい。また、京都に建立された中心寺院を答えなさい。

- a 選択本願念仏集 b 教行信証 c 興禅護国論
- d 正法眼蔵 e 立正安国論

〔2〕 次の史料を読み、下記の問いに答えなさい（史料は省略したり、書き改めたりしたところがある）。

第一条 日本国ハ、⁽¹⁾独逸国及⁽²⁾伊太利国ノ欧州ニ於ケル新秩序建設ニ関シ、指導的地位ヲ認メ且之ヲ尊重ス。

第二条 独逸国及伊太利国ハ、日本国ノ（ ① ）ニ於ケル新秩序建設ニ関シ、指導的地位ヲ認メ且之ヲ尊重ス。

第三条 日本国、独逸国及伊太利国ハ、前記ノ方針ニ基ク努力ニ付相互ニ協カスヘキコトヲ約ス。更ニ三締約国中何レカ一国カ、現ニ⁽³⁾欧州戦争又ハ日支紛争ニ参入シ居ラサル一国ニ依テ攻撃セラレタルトキハ、三国ハ有ラユル政治的、経済的及軍事的方法ニ依リ相互ニ援助スヘキコトヲ約ス。…（中略）…

第五条 日本国、独逸国及伊太利国ハ、前記諸条項ガ三締約国ノ各ト「 ② 」連邦トノ間ニ現存スル政治的状态ニ何等ノ影響ヲモ及ボサザルモノナルコトヲ確認ス。

問1 下線(1)(2)について、その指導者を答えなさい。

問2 空欄（ ① ）「 ② 」に入る適切な語句を答えなさい。

問3 この資料の条約名を答えなさい。

問4 締結の成立には、当時の日本の政策決定が影響している。その政策と当時の総理大臣を答えなさい。

問5 下線(3)について、仮想敵国を指すが、その国を答えなさい。

問6 資料締結後、仮想敵国との衝突を避けるため、民間人同士の交渉が政府間交渉へ発展した。野村吉三郎と交渉に臨んだ国務長官を答えなさい。

問7 資料締結後、松岡外相がモスクワで結んだ条約を答えなさい。

〔3〕 次の文章を読み、下記の問いに答えなさい。

⁽¹⁾足利義満のあとを継いだ將軍足利義持の時代は、將軍と有力（①）の勢力均衡が保たれ、比較的安定していた。1416年、前（②）の上杉禪秀が、鎌倉府の内紛に乗じて反乱を起こしたが、幕府に鎮圧された。

しかし、6代將軍足利（③）は、將軍権力の強化をねらって専制的な政治を行った。（④）の足利持氏と（②）の（⑤）の対立を契機に、（③）は関東へ討伐軍を送り、幕府に反抗的な（④）の足利持氏を滅ぼした。これを（⑥）という。乱後の1440年、結城氏朝が足利持氏の遺子を擁して挙兵したが鎮圧された。これを（⑦）という。1441年、有力（①）の一人（⑧）が（③）を殺害した。これを嘉吉の変という。同年、（⑧）は⁽²⁾幕府軍に討伐されたが、これ以降將軍の權威は大きくゆらいでいった。

関東では、足利持氏の子成氏が（④）となったが、成氏も上杉氏と対立し、1454年に享徳の乱がおこった。（④）が成氏の（⑨）と、⁽³⁾將軍義政の兄弟政知の（⑩）とに分裂し、（②）上杉氏も山内・扇谷の両上杉家に分かれ争い、戦国の世に突入した。

この混乱に乗じて15世紀末、京都から下ってきた（⑪）は（⑩）を滅ぼして⁽⁴⁾伊豆を奪い、ついで⁽⁵⁾相模に進出して（⑫）を本拠地とした。

問1 空欄（①）～（⑫）に入る適切な語句を答えなさい。

問2 空欄（⑤）は、禅僧・武士に高度な教育をほどこし、多数の書籍を収集した。その教育施設は何と呼ぶか、答えなさい。

問3 下線部(1)(3)について、それぞれが京都で建てた山荘（現在は寺院）の代表的建築物を答えなさい。また、それぞれの文化を何と呼ぶか、答えなさい。

問4 下線部(2)について、領国の播磨で討たれたが、播磨とは地図上のどこか、記号を選びなさい。また、現在の都道府県を答えなさい。

問5 下線部(4)・(5)について、地図上のどこか、記号を選びなさい。また、現在の都道府県を答えなさい。

〈問4・問5の地図〉

